

まちづくりワークショップ

テーマ：まちづくり等における世代間交流・継承を考える

近年、地域コミュニティにおいてかつてのような世代間交流が希薄化して久しいといわれています。世代間交流の希薄化の背景には様々な要因が考えられますが、世代間の絆が弱まるとそれは「まちづくり」等の地域活動にも影響するといわれています。

今回、和歌山大学と京都大学の研究開発プロジェクト「ソーシャル・キャピタルの世代間継承メカニズムの検討」(JST-RISTEX 助成)が中心となり、「まちづくり等における世代間交流・継承を考える」と題して、ワークショップを開催します。みなさんが普段関わられている様々な活動の多世代参加や世代間継承の状況、課題について意見交換していただき、28年度に本プロジェクトにおいて実施した全国アンケート調査の結果等の紹介もふまえ、まちづくり活動等の世代間継承に向けた促進策や体制づくりについて自由討議いただく会です。奮ってご参加下さい。(会場の都合により人数制限を行う場合がございます)

日時：平成29年6月11日(日) 13時10分~17時00分
(30分前より受付を開始いたします)

場所：ホテルメリージュ 鳳凰の間 宮崎市橋通東3-1-11
JR宮崎駅西口より徒歩10分

参加費無料

・開会挨拶／概要説明 要藤正任

・話題提供 足立基浩

・ワークショップ

・発表

・講評

・閉会挨拶 足立基浩



要藤正任

京都大学経済研究所特定准教授
1995年東京大学経済学部卒業、建設省(現国土交通省)入省。土地・建設産業局不動産市場整備課不動産市場企画調整官、総合政策局政策課政策調査室長等を経て2014年より現職。東京大学修士(経済学)、英ヨーク大学修士(経済社会政策)。



足立基浩

和歌山大学経済学部教授
1992年慶應義塾大学経済学部卒業、朝日新聞社記者を経て、1994年ロンドン大学SOAS校ディプロマ、1995年ケンブリッジ大学土地経済学研究科修士号(MPhil)、2001年ケンブリッジ大学大学院土地経済学研究科博士号(Ph. D)を取得。2010年4月より現職。

主催：「ソーシャル・キャピタルの世代間継承メカニズムの検討」研究開発プロジェクト
JST-RISTEX「持続可能な多世代共創社会のデザイン」研究開発領域 H28年度採択プロジェクト
【代表者：要藤正任(京都大学経済研究所特定准教授)、共同研究者：足立基浩(和歌山大学教授)、上野美咲(和歌山大学特任助教)】

共催：宮崎市商店街振興組合連合会

※参加希望者は、5月31日(水)17時までに下記メールアドレスあてに「参加希望」とご記入の上、お名前・ご連絡先(お電話番号等のご連絡がつく先)・ご職業を記してください。メールアドレス：akio@center.wakayama-u.ac.jp(担当：中筋)

なお、このお申し込み情報は本ワークショップ以外の目的では使用いたしません。